

インターネット版

# 白夜

第2号

(池田・元常務理事追悼号)

2021年3月

北海道スウェーデン協会

## 池田省司氏御逝去

長らく当協会の常任理事を務めていた  
だいた池田省司氏（ピー・アンド・エフ・  
トレード商会）が、本年2月1日にご逝去  
されました。享年85歳でした。



ここ3年は、抗がん剤治療のため札幌と  
当別を行ったり来たりする生活とのこと  
で、平成31年4月19日には常務理事を辞  
任し、会員として復帰できるよう健康の回  
復をめざしたいというお手紙を頂いてい  
たところです。

氏の当協会に対する長年にわたる多大  
な貢献に敬意と感謝の意を表し、同氏を追  
悼する「白夜」の「池田・元常務理事追悼  
号」を企画したところ、会員から追悼文が  
寄せられました。ここにご紹介するととも  
に、改めて同氏のご冥福をお祈りいたし  
たいと思います。

.....

### 追悼 池田さん

加藤 誠（会長）

横山さんから、池田省司さんがお亡くな  
りになったとのお知らせを頂きました。  
池田さんは、永年北海道スウェーデン協会  
の常任理事をつとめて下さいました。

お元気な頃は、協会の諸行事への御参加  
は、殆んど皆出席だったのではないでしょ

うか？熱心で律儀な会員だったと思いま  
す。協会の忘・新年会には、余興としてビ  
ンゴゲームをやるのが常でした。ビンゴの  
景品には、当別のスウェーデン交流センタ  
ーのガラス製品が使われていましたが、こ  
の選定にはセンターとのパイプのあった  
池田さんの御盡力がありました。

当スウェーデン協会の30周年記念に  
は、記念品として可愛らしいブルーのドロ  
ップ型のガラス置物が選ばれたのでした  
が、これも池田さんがなさって下さったこ  
とでした。協会が何か記念品をもうけたの  
は、この時がこれ迄唯一一回のことです。

池田さんは協会の機関誌「白夜」にも寄  
稿されました。日露の国境問題について  
は一家言をお持ちで、これについて述べて頂  
いたものがあります。これは必ずしもスウ  
ェーデンに関連した記事ではなかったの  
ですが「白夜」は会員のフォーラムである  
との考えから、会員の御意見とのことで書  
いて頂いたものです。

池田さんは、杉本さんのようにボルボ車  
の愛好家で、永年これを愛用されたのでし  
た。

謹んでお悔やみ申し上げます。

### 池田常務理事を偲ぶ

臼井 寛（常任理事）

池田さんとは同年輩と一緒に常任理事  
に選ばれたのではないかと思います。それ  
まで常任理事は会社の偉い人がなってい  
きましたので出番なんてありえなかったの  
ですが、秋山家と縁が切れたあたりから法  
人会員が激減し成り手がなくなったの  
が原因だと思います。それまでは顔を知っ  
ているくらいで親しく会話したことも無  
かったですが、杉本会長が来られて20周  
年スウェーデン旅行にご一緒したことで

親しくなりました。私は21年ぶりストックホルムだったので千載一隅のチャンスとばかりかねてから連絡してあったことや行ってみたい所があり家内を置いて一人で抜け出していた時池田さんが家内の面倒を見てくれて大いに助かりました。ほんとに面倒みのいい人でした。当別町に住まわれたこともあって当別町やスウェーデン交流センターとの連携がうまくいっていたように思います。彼の写真が無いか探したのですが撮ってもらった写真ばかりで集団で撮ったのはありましたがこれは皆さんが持っている写真で拡大しなければならず適当ではありません。然し私には元気な時代の池田さんの記憶があります。いつも穏やかな笑顔で接してくれた思い出があります。池田さんと言えばあの顔が目に見えます。池田さん永い間有難うございました。

#### 思い出

##### 生越玲子（常任理事）

元常任理事 池田省司様を悼み謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

私はスウェーデン協会の会合ではいつも同席させていただきました。

ある時、隣の席で池田様は面白い器具をお見せくださいました。8種類くらいの機能を持つ洒落たコンパクトアーミーナイフのようなものです。少年の心を持つ男性でした。

本当は芯のあるお方であると拝察しておりましたが、私に合わせてむづかしいお話ではなく愉快的な会話でした。若々しくて明るく爽やかでいられました。

そこにいられるだけで穏やかな雰囲気醸される方で、ご出席がなくなるととても寂しいことでした。

スウェーデン協会の新年会では素敵な景品をご用意してくださり、ビンゴゲームで盛り上げてくださいました。ビンゴゲームでは皆様の笑顔があふれるので私はガラガラを回すお役を楽しみました。

お嬢様はお優しい方で池田様に楽しい知恵をお示しだったとお聞きしました。勝手な想像ですが先に召された奥様と楽しい会話をされていると思います。

佳き思い出をありがとうございました。

合掌

#### 池田省司さんを偲んで

##### 杉本 拓（顧問・元会長）

池田省司さんがご逝去されたとお知らせをいただきました。北海道スウェーデン協会にとってかけがえのない方でしたから残念でなりません。心から哀悼の誠をお捧げいたします。かって臥しておられるとお聞きし当別町の自宅をお訪ねしたのですがお会いできなく気になっておりました。



スウェーデン国会議員歓迎会にて（中央）

池田さんのスウェーデン協会歴は私より長いと思いますが、より身近で親しく接するようになったのは、1998年協会20周年

年記念として行ったストックホルム・ヘルシンキ・ロンドン周遊の旅でした。21人の一行は5日間のストックホルム滞在中ストックホルム市庁舎をはじめ美しいノーベル賞の街を堪能、瑞日協会メンバー宅のアフタヌーン・ティー・パーティーで歓迎を受けるなど、今でも思い出深いものとして心に残っています。

スウェーデン協会は2018年創立40周年を迎えましたがその間池田さんは役員として協会で重要な役割を担って下さいました。

スウェーデン・レクサンドと姉妹都市の関係にある当別町、また同町に所在するスウェーデン交流センターとの協力関係の充実にもお力添いをいただきました。協会新年会で講演などの後、懇親の場でビンゴゲームの景品は交流センターのガラス工芸品で、それを逃げるのはいつも池田さんの役割でした。

40周年を記念して札幌雪まつりで、HBC北海道放送株式会社が大通りHBC広場にスウェーデンの歴史的建造物「ストックホルム大聖堂」を作成してくださりおおきな感動を与えてくださいました。池田さんはその会場に姿を見せることはできませんでしたが、雪まつりの雪像とスウェーデンとは長年の歴史があります。雪祭り国際雪像コンクールに参加し続けていたスウェーデン・チームが遂についに2004年(31回雪まつり)で念願の優勝をはたしました。私たちは毎年激励に訪れその中には必ず池田さんがおりました。当別町有志が大通り仮設会場で作る激励の名物イモ団子汁を味わったのも思い出です。

スウェーデン協会は設立から会員は北大の先生をはじめスウェーデンに留学経験のある方が多かったのですが、それに加え川崎一彦東海大学名誉教授(現在ストックホルム在住)の影響でスウェーデンを知

る、また行く機会が多くなりスウェーデンが大好きな人たちの集まりです。そこには池田省司さんをはじめ先輩たちの存在がありました。スウェーデンと北海道、距離はありますが同じ北方圏に位置する都市として共通の風土、異文化の理解、国際貢献などを深めるためこれからも池田さんの意思を引き継いでいきたいと思えます。

### 池田省司さんの墓誌銘

### 北海道スウェーデン協会誌「白夜」への寄稿記録

横山 隆(理事長)

池田さんの「白夜」への初寄稿は第17号(1996年3月)でした。題名は「メカトロマシン最前線ーボルボ車に乗ってー」でした。池田さんの、外面も内面もシャんと背筋の通ったお姿を偲びながら、「白夜」へのご寄稿の足跡を辿ってみたいと思えます。

第18号(1997年3月)スウェーデン・チーム応援記(雪まつり雪像コンクール)

第19号(1998年3月)北海道経済への教訓と再生

第20号(1999年2月) [一部]ー視点ー'98北海道経済の1年 [二部] 欧州文化首都'98ストックホルムを訪ねて

第23号(2002年3月)北欧の美学ースウェーデンに学ぶことー

第25号(2004年3月)北海道東海大学スウェーデン人留学生当別訪問記

第26号(2005年3月)ユーロ圏に行くーまこと険しいイタリア旅行記

第27号(2006年3月)戦争と平和

第29号(2008年3月)北方領土問題／協会創立20周年記念スウェーデン訪問団のガイド山下たず子さん来札

第 30 号 (2009 年 4 月) 協会創立 30 周年記念品ペーパーウェイト「雫」の製作にあたって

インターネット版 白夜 第 2 号 終わり

第 33 号 (2012 年 4 月) 「日ロ領土問題」実態と今後の交渉について

池田さんの玉稿は協会ホームページの「白夜」バックナンバーでご覧になれますが、改めて目を通し、視野の広いご見識に触れることが出来ました。協会へのご尽力に心から感謝申し上げますとともに、ご冥福をお祈りいたします。

池田さんは、協会の行事のたびに写真撮影班を買って出てくださいましたので、池田さんのお写真が少ないのが心残りです。

合掌



森本駐スウェーデン大使（当時）を囲んで（後列中央）  
（平成 24 年）